

第3 問題作成部会の見解

1 出題教科・科目の問題作成の方針（再掲）

- 英語以外の外国語については、『筆記』テストを課し、「リスニング」テストは実施しないが、以下のように可能な限り外国語によるコミュニケーション力を評価する。
 - ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解する力を引き続き重視する。
 - ・併せて、高等学校において、「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り], [発表]」「書くこと」を統合した言語活動の充実が図られることを踏まえ、情報や自分の考えを適切に表現したり伝え合ったりするために、理解した情報や考えを整理したり、何をどのように取り上げるかなどを判断したりする力を重視する。
 - ・また、コミュニケーションを支える基盤となる知識や技能についても、引き続き評価する。
- 問題は、高等学校学習指導要領「外国語」の目標及び内容等に対応したものとし、CEFR等を参考に作成する。

また、大学教育を受けるために必要な能力を把握できる問題とするが、高等学校において英語以外の外国語を初めて履修する者もいることも考慮し、多様な入学志願者の学力を適切に識別できるようにする。

2 各問題の出題意図と解答結果

令和7年度共通テストにおいては、「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト問題作成方針」にのっとり、高等学校でドイツ語を学んだ受験者の基本的能力を正確に把握することを目標とした。「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り], [発表]」「書くこと」の統合的な言語活動の充実が図られることを踏まえ、情報や自分の考えを適切に表現したり伝え合ったりするために、理解した情報や意見を整理したり、何をどのように取り上げるかなどを判断する力を多面的に評価することを心掛けた。また、コミュニケーションを支える基盤となる知識や技能についても、引き続き評価する。

作問に当たっては、高等学校ドイツ語担当教員や日本独文学会ドイツ語教育部会の意見を参考にし、過去の共通テストの分析も手掛かりにして、問題の難易度を適正に保つことを心掛けた。出題語彙の範囲については、各種独和辞典の重要語彙、CEFRの語彙リストを参照し、受験者に過度の負担がかからぬように配慮した。

試験全体の構成は、これまでの形式にとらわれることなく、第1問で文法・語彙の基本的な知識を、第2問で作文能力を、第3問で日常的なコミュニケーション場面における基本的な言語知識を、第4問でインタビューなどから情報を集めて整理・発表する能力を、第5問でデータや文章から必要な情報を選び出す能力を、第6問でテキストから論理的展開を読み取る能力を問う作問を目指した。

設問数と配点については、文法2問11題33点、作文3問6題18点、コミュニケーション7問8題40点、整理・発表5問8題30点、データ読み取り6問7題35点、長文読解6問8題44点とし、全体の設問数は29問、解答数は48題である。

上記の基本方針を踏まえ、各問題は、次のような意図に基づき出題されている。

第1問：基本的な文法知識及び語彙力の習熟度を問う。

第2問：基本的な文法知識に基づく、文の運用能力を問う。

第3問：会話の内容を総体的に捉え、日常会話の基本表現や基本語彙を活用する能力などを問う。

第4問：複数のソースから情報を収集し、それを整理し発表につなげる能力を問う。

第5問：文章や、それに関するデータから必要な情報を選び出す能力を問う。

第6問：比較的分量のある記事を読み、その概要・要点、論理展開、書き手の意見等を把握する能力を問う。

全体の平均点は127.24点（100点満点換算値：63.62点）で、昨年の130.95点よりも少し下がったが、ほぼ同水準と見て良いであろう。各問題の設問数、配点及び得点率は次のとおりである。

発音・文法	第1問	2問	33点	60.4%
	第2問	3問	18点	64.2%
会話・コミュニケーション	第3問	7問	40点	73.1%
	第4問	5問	30点	51.8%
読解	第5問	6問	35点	60.7%
	第6問	6問	44点	67.5%

3 自己評価及び出題に対する反響・意見等についての見解

出題に用いたドイツ語の総語数と総語彙数は、新たな出題形式を採用したことに伴い前年度よりそれぞれ100語程度増えた。日本独文学会ドイツ語教育部会（以下「ドイツ語教育部会」という）からは、「問題形式は、共通テスト初年度の令和3年度に大きく変わり、それ以降は形式の大きな変更はなかったが、今年度は大問が7問から6問に減り、発音の知識を問う問題がなくなるなど、再び大きな変更があった。学習指導要領で目標とされている、実際のコミュニケーションで必要とされる知識やスキルがより一層問われるような工夫がなされていると評価できる。」とのコメントがあり、同時に難易度の高い語彙については「今年度は難語の数も昨年度（13語）に比べて増えたが、総語彙数が大幅に増加しているにもかかわらず、むしろ難語は25語程度に抑えられている。全体的には基本的語彙を活用し、そもそも難度が高い語にはあらかじめ注やイラストを施すことで結果的に難語使用が回避され、受験者の負担に配慮したことが伺える。」との評価を得た。また、高等学校教科担当教員（以下「教科担当教員」という）からは、「昨年度までであった発音・アクセントに関する知識を問う出題がなくなった。特定の場面や状況に応じた会話や長文など、受験者には今まで以上に幅広く学び、正確な知識が求められる出題である。」というコメントを頂いた。

設問構成と出題形式については、「思考力・判断力・表現力等」を含め、ドイツ語を用いたコミュニケーションで問われる多様な能力を測るという目的に沿って検討を重ね決定している。全体的な出題形式について、教科担当教員からは、「共通テスト『ドイツ語』にはリスニングの設定がなく、受験者にアクセントや母音の長短を身に付ける意識を持たせるためにも発音に関する出題をしてほしい。今回の試験では全体的に、語彙の難度が高いためにその知識がなければ思考しても正答には至りづらく、加えて難度の高い語彙が設問に関わるところに繰り返し使われ解答を難しくしている。仮に正答を選べていても、理解しているのか分からない。」というコメントと要望を頂いた。また、設問のテーマに関して、ドイツ語教育部会からは「概して高校生に身近に感じられる事柄が選択されていた従来のテーマに比べ、今年度は社会的・学術的なテーマも含まれているため、内容はやや難化した。身近な話題だけではなく、一般的な教養や社会問題を問われる点は、大学での学業の準備と捉えられる。テキストの種類としては、家族との会話、質疑応答と要約、図表資料と記事、論説文が出題された。これは学習指導要領の目標を見据えて時代に即した工夫がなされた結果

と史料される。」という評価を頂いた。教科担当委員、ドイツ語教育部会から頂いた評価・要望を踏まえ、今後はレベルの更なる適正化を図りたい。

第1問は主として基礎的な文法、語彙の知識を問う問題である。新教育課程に対応し、問題形式を変更した。各問を個別の選択問題ではなく、テキストの中に配置することにより、文法や語彙の知識のみならず、文脈に応じた適切な表現を問うている。ドイツ語教育部会からは「文法知識に裏付けられた総合的な力を問うている」と評価された。テキストの内容についても「身近で取り組みやすく、難度も適切である」と高評価を得た。

第2問は与えられた語を適切に配置させることで、様々な文法知識や熟語表現を多層的に問う問題である。実際にドイツ語を運用する日常的な場面において、文の理解を前提にして個々の文法知識及び使用頻度の高い重要な表現の知識を問うている。今年度より完答問題をやめ、部分点を認めることとした。また設問数も昨年度より1つ減らして3とした。ドイツ語教育部会からは「全体として適切な難度であり、文の内容は現代における社会的な話題を取り扱っている点が興味深い」、また「目的や場面に応じて学習者が適切にコミュニケーション能力を活用することができるかを測ろうとしている問題であると評価する」との評価を得た。

第3問はSchneider家が土曜日の朝に家族で朝食をとる前に、懸賞で500万ユーロ当選したという郵便を受け取り、その賞金の使い道について家族（母、父、息子Moritz、娘Lisa）が話し合っている会話を読んで、設問に答える問題である。それぞれの好きなことが分かるような会話文になっている。昨年度の問題について、解答するに当たり「本文内にある語や表現を注意深く読み取ること、排除すべき選択肢が明確となるようにすること」が教科担当教員の意見・評価として挙げられていたことから、本文を注意深く読んで解答できるように配慮した。今年度も「高校生・大学生も身近に感じられるテーマ」を選び、場面設定を行った。Gewinnspiel（辞書に掲載されていない）の意味が分かりやすくなるように、母親が受け取った手紙の一部をイラストとして示した。賞金の使い道について考える際に、現代的な視点（AIに聞いてみる）を取り入れ、AIの提案をイラストで示した。ドイツ語教育部会から、本年度の問題形式に対し「学習指導要領で目標とされている、実際のコミュニケーションで必要とされる知識やスキルがより一層問われるような工夫がなされている」と評価されていることから、第3問全体が評価されたと読み取れる。

第4問は、水に関するフォーラムの会話を読み、設問に答える問題である。フォーラムを聞きながらメモをとり、さらにそのメモを基にプレゼンテーションの発表原稿を書くという設定は、学習指導要領を意識したものであり、ドイツ語教育部会からは「学習者が主体的な立場から問題を解く出題形式となっている点は興味深い」と評価された。ただしこの出題形式については、今後とも検討していく必要がある。また、教科担当教員の方からは、Moderatorin, Dr. Hendel, Dr. Paulという三人の人物の発言内容を整理する必要があったこと、また内容的に語彙が難しく、なおかつ過去形や2格が多用されていたとの指摘があった。ほかの問題と比較して、突出して難易度が高かったということはなかったものの、今後はこれらの点についても配慮する必要がある。ドイツ語教育部会からは「文と選択肢を丁寧に読み解けるかを問う良問である」との評価を頂いた。しかしながら、教科担当教員の方からは難語の使用を指摘された。今後は、学習者が書くような文章を選択肢として提示する方が、第4問全体の意図に沿っていると考えられる。

第5問では、本文とグラフデータの双方から各段落の内容を正確に理解できるか、グラフの数値のドイツ語での表現を正確に読み取れるか、テキスト全体のテーマを問う問題を作成した。6問のうち3問は、導入文をドイツ語にすることで、ドイツ語での表現を正確に読み取れることが前提となる形になっている。日本語による設問では、該当段落の正確な理解を求める問題を作成した。テキストにはドイツにおける環境を意識した消費行動（特に食料品の消費・購入）と国の政策につい

て論じたものを選んだ。食と環境は日常生活に直結する身近なテーマであり、ドイツ国内では環境に配慮した食品の表示形式が多様になっていることから、省庁の最新の調査結果に基づいて丁寧に読み解く力を問う問題を作成した。問題に対する全体的な評価として、特にテキストテーマに関して教科担当教員から「食糧問題」は身近なテーマだが、ドイツ滞在歴が内容理解に影響を与える」との指摘があった。ドイツ語教育部会からは、本文に出てくる「動物の福祉」という観点は受験者になじみがないかもしれないが、注とともに文章中でも説明があり、予備知識がなくても理解できる内容との指摘があった。語彙の難易度に対する指摘が特に教科担当教員から複数寄せられたが、語によっては、英語からの意味推測も有効に働く可能性があるだろう。読解問題で極めて重要である精読力並びにテキスト全体の主旨をつかむ力については、問1や問6において求められている。これについては、ドイツ語教育部会から良問との評価を受けた。設問に該当する本文箇所だけでなく、テキスト全体の主旨を捉えた総合的な理解は読解問題において非常に重要である。

第6問では、比較的分量のある記事を読み、その概要・要点、論理展開、書き手の意見等を把握する能力を問う問題を作成した。6問のうち4問は選択肢をドイツ語にすることで、ドイツ語での表現を正確に読み取ることも前提としている。テキストは色の受け止め方の違いについて、その歴史的経緯と社会的、文化的特性に関する複数の記事を基に作成した。問題作成に当たっては可能な限り難解な表現は避け、日本語による注の代わりに (Teufel und Hexe, Schornsteinfeger) イラストによる視覚的提示によってドイツ語を補足することとした。イラスト及び本文の言い回しについては、ドイツ語教育部会からは「語注やイラストが効果的に配置されており、テキストは読みやすい。」と評価されている一方で、教科担当教員からは「文に挿絵があり本文理解の助けにはなるが、使用語彙や言い回しが難しいと感じる」との指摘があった。問題についてもドイツ語教育部会は全体的に「難度は適切」との評価がなされたが、教科担当教員からは「やや難」、「難しい」など全般的に難度が高いとの評価がなされている。語彙や表現の適切なレベル設定を今後の課題としたい。作問に関しては、本文の一部分から解答を導き出す問題ではなく、テキスト全体の理解度を問う問題を目指した。全体の得点率は約67.5%であった。昨年度の得点率が57.5%であったことから、難易度に関しては若干平易化したと言える。

4 ま と め

現行の学習指導要領においては、英語以外の外国語に関する科目は「英語に関する各科目の目標及び内容等に準じて行うもの」とされ、当該言語に応じた明確な指導目標が存在しない中、事実上共通テストが高等学校の学習目標となっている点に鑑み、問題作成部会としてはドイツ語学習者の裾野を広げるためにも、問題内容と形式、レベルとバランスに配慮しつつ、良問の作成に向けて更に努力を続けていく所存である。なお、過去10年間の本試験の受験者数・平均点(100点満点換算)の推移は以下のとおりである。

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
受験者数	147	116	109	118	116	109	108	82	101	96
平均点	65.46	64.33	68.42	76.10	73.95	59.62	62.13	61.90	65.47	63.62